※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）韓国・朝鮮語文化理解	2	全学年	なし

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

韓国・朝鮮の文化を理解・体験することを通し、相手を知ろうとする力、自分を振り返る力、新しいことに挑戦する力を高めます。
また、国際平和に向かっての課題を探求し、自分にできることは何かを考える力を養っていきます。

２　学習の到達目標

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	初歩的な会話表現を聞き取ることができる。	韓国・朝鮮の文化についてテーマをしぼって、探求・発表できる	韓国・朝鮮の伝統打楽器を体験しながら多文化を身につける	簡単な語句や文を用いて、自分を紹介できる。	多文化を知りながら、自分をふりかえり新しい自分をみつける

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	朝鮮半島と日本との関係について、過去・現代について学び、未来について考える 韓国・朝鮮の伝統打楽器を体験しながら多文化を身につける 韓国・朝鮮の生活習慣や、現在の流行について知る	韓国・朝鮮の打楽器で演奏できる 韓国・朝鮮の文化についてテーマをしぼって、探求・発表できる 食文化を通し、実際に作ってみたり、探求したりしながら他国の生活を理解する	多文化を知りながら、自分をふりかえり新しい自分をみつける 環境や文化の違いがあっても、相手を理解しようとする力を身につける

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期 後期	基本的な 母音 二重母音① 二重母音② 会話表現	聞くこと	a.　日本語と違う母音の音を聞くことができる。 b.　挨拶を聞き取ることができる。	リスニング 小テスト
		読むこと	a.　文字の成り立ちを理解し、発音することがで b.　発音し続けようとする。	リーディング
		話すこと （やり取り）	a.　学習した単語を１つ以上用いて、やりとりできる。 b.　挨拶を声に出してやり取りできる。 c.　やり取りを続けようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a.　文字の成り立ちを理解し、母音字だけの単語を書くことができる。 b.　読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング 小テスト
	楽器の演奏	文化理解	a.韓国の打楽器を演奏して、多文化を理解する。	楽器演奏
	調理実習	食文化理解	c.　食文化を通し、実際に作ってみたり、探求しながら他国の生活を理解する	調理実習に参加
	習字実習	文化理解	c.　ハングル文字で韓国習字文化にふれる。	習字作品完成
	韓国伝統工芸 （和紙でマグネット作成）	文化理解	b.伝統工芸の和紙を使って、国際理解に努める。	マグネット作品完成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度